

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
高砂市立高砂児童学園		令和7年2月 4日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	4	クラス活動と全体活動で、部屋を使い分けて使用しています。園庭は、広く十分なスペースがあります。	引き続き安全面での配慮を十分に行い、環境構成を工夫していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	15	0	職員の配置は、適切な人員が配置されています。	適切な支援が行えるよう、引き続き適切な職員配置をしていきます。現在、専門職の指導は、月2回実施しているので、引き続き行っています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	6	こどもの状況に合わせた環境づくりを心掛けています。またこども達に分かりやすいようにイラストや写真・文字などを使って環境整備も行っています。	今後も安全快適に過ごすことができるように、環境整備を行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	13	2	毎日、こども達が降園後各部屋や玩具の清掃・消毒を行っており、室内環境を随時見直しています。	夏の遊びに関しては、熱中症などの対策を実施し、安全にこども達が楽しんで過ごすことができるようにしていきます。また、建物が古い施設になるが、清潔に保ちながら、明るい環境で過ごすことができるようにしていきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	14	1	個別療育を受ける際や午睡が必要なこどもには、個別の部屋を用意しています。またクラス活動ではさみなどを使う際にも安全面を考えて環境を整備しています。	こどもの安全を確保しながら、安心して個別の部屋を使用できるようにしていきます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	15	0	定期的に自己評価を行い、資質向上を行っています。	今後もそれぞれに応じた目標設定を行い、業務改善を進める為、全職員で考えていくようにします。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15	0	各行事ごとに保護者に感想や意見を聞き、今後の行事などにつなげるようにしています。	毎年保護者の意向を把握する機会を設けており、業務改善につなげています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15	0	職員同士で話をする場や、必要に応じて面談をするなどの機会を設けています。	今後も職員と意見交換できる場を設け、業務改善につなげていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	12	3	第三評価は行ってないが、行政に学園での保護者アンケートや評価結果を報告し、その都度意見などは聞かせていただいています。	今後も学園運営について検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	15	0	毎月の園内研修や外部研修に参加し、職員の資質向上に努めています。	今後も積極的に研修を計画・参加し、職員の資質向上を図っていきます。
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	15	0	支援プログラムを作成し、HPなどで公表しています。	今後も定期的にHPの更新を行い、閲覧する方が分かりやすいようにしていきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成しているか。	15	0	アセスメントを保護者の方で行い、ニーズや課題についてしっかりと話をするようにしています。	引き続きこどもと保護者のニーズをその都度確認し、支援計画を作成していきます。
	13	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	15	0	支援開始になる前にこどもに携わっている関係者が集まり個別支援会議を開き、計画書について検討・見直しを行うようにしています。	今後も、こどもに関わる職員全員で共通理解をしていながら検討を行っています。
	14	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	15	0	支援計画について職員で協議し、共通理解したうえで支援を開始するようにしています。	今後も、一人一人の個別支援計画を検討し、共有しながら支援を進めていきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	14	1	様々な支援方法を用い、個々に合った支援を検討していきます。	職員で情報共有しながら支援について検討していきます。
	16	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	15	0	それぞれの支援内容に沿ってこどもに合った支援内容を考え、スモールステップでこども達に無理のない目標を立て成長を確認できるように設定しています。	今後も、こども達に合った支援内容を検討していきます。

な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	15	0	職員間で話し合いを行いながら、活動プログラムを検討しています。	今後も職員間で話し合う機会を多くもち、職員全員で検討していきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	15	0	季節や子ども達の状況に合わせて、その都度活動プログラムを検討しています。	今後も園児の様子や季節・要望等に合わせて、活動プログラムの工夫をし、実施していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	15	0	こどもの状況や保護者の意向などを組み合わせて活動内容を検討し支援計画を作成しています。	引き続き、活動内容を職員で検討してすすめていきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	15	0	毎朝、職員会議を行い、本日の支援について共通理解したり役割分担をするようにしています。	引き続き職員会議を行いながら、職員で共通理解して支援を行っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	15	0	支援終了後に、担任や他の職員と振り返りを行いながら次への支援についても話し合うようにしています。	支援の振り返りを行いながら次への支援とつなげていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	15	0	支援終了後に振り返りを行いながら、日々の子ども達の様子を記入し、支援の研修なども行っています。	日々の保育を大切にしながら、引き続き支援の検証・改善につなげていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	15	0	定期的にモニタリングを行い、支援の検討・見直しを行うようにしています。	今後も定期的にモニタリングを行いながら支援について検討していきます。
	24	【放デイのみ】放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。				
	25	【放デイのみ】こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。				
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	15	0	会議には、担任及び児童発達支援管理責任者も出席し、こどもについて話し合う機会を設けています。	今後も会議などには参加し、支援について情報共有を行っています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	15	0	必要に応じて各機関・医療機関とも連携していきながら支援体制を整えています。	個人情報に十分気を付けていきながら関係機関と連携体制を整えていきます。
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	15	0	他市の児童発達支援センターと連携体制をとり、必要に応じて助言を受けています。	今後もより連携体制がとれるようにしていきます。
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	15	0	市内のこども園・保育園・幼稚園との交流を行っており、同年代の子と触れ合う機会を設けています。	地域の園との連携もしていきながら、こども達が触れ合える機会を増やしていきます。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	15	0	毎日連絡ノートを通して保護者の方と情報共有を行い、必要に応じては直接話をしながら共通理解できるようにしています。	こども達の様子を保護者に分かりやすいように伝え、共通理解できるようにしていきます。
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	15	0	今年もペアレントトレーニングを計画し、保護者の方が参加されています。	保護者の方が参加しやすい日程や時間帯を考えるなどしながら、希望される方が受講できるようにしていきます。
	32	【児発事業所・児発センターのみ】併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚園）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	14	1	次年度に就園・就学を考慮しておられる家庭には、適切な情報提供を行っています。また各園・学校に情報を共有しながら相互理解を図るようにしています。	新たな環境にスムーズに移行できるように、情報共有を行いながら相互理解を図っていきます。
	33	【児発事業所・児発センターのみ】就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	15	0	就園・就学先と情報共有を行い、安心して移行できるようにしています。	引き続き就園・就学先の情報共有を行います。
	34	【児発センターのみ】地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	15	0	行政や他の事業所との連携を図り、定期的に研修を行ったり、情報共有を行っています。	地域の児童発達支援センターとの連携を密にし、様々な情報交換及び質の向上を目指した研修なども行っていきます。
	35	【児発センターのみ】質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	15	0	定期的に職員が研修を受ける機会を多くもち、助言などを受けながら質の向上を図るようにしています。	今後も職員の資質向上を図り、研修の参加や自己啓発に努めます。
	36	【児発センターのみ】（自立支援）協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	15	0	自立支援協議会・こども部会など、定期的に地域の会議に参加しています。	今後も各部会に参加していきます。
	37	【放デイのみ】学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。				

	38	<u>【放デイのみ】</u> 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。				
	39	<u>【放デイのみ】</u> 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。				
	40	<u>【放デイのみ】</u> （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。				
保 護 者 へ の 説 明 等	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	15	0	入園前に保護者に対して書面を使いながら丁寧に説明を行っています。	引き続き保護者に分かりやすく説明を行います。
	42	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	15	0	こどもの状況を把握し、保護者の話を聞く時間を設け、それぞれの意向を確認してから作成するようにしています。	今後もしっかりとアセスメントの時間を設け、こどもや保護者の意向を確認するようにします。
	43	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	15	0	アセスメントを通して計画書を作成し、計画書を見ながら一つずつ説明を行い同意を得るようにしています。	引き続き計画書に沿って説明を行い、保護者などの意見も聞きながら同意を得ていきます。
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	15	0	普段の生活の中では担任が相談に応じているが、保護者が必要としている時は、専門職が面談を行うなどしながら支援を行っています。	保護者からの相談ごとに丁寧に对应し、助言などを行っています。
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	15	0	月に1回保護者会を開催し、保護者同士の交流の場を設けています。また、行事によってはきょうだいも一緒に参加することでもできる機会もあります。	保護者会については、今後も定期的に行っていきます。またきょうだい支援については、交流する機会が少ないので、今後の検討課題としてきょうだい支援についても考えていきます。
	46	こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	15	0	いつでも相談や苦情の申し入れができるような体制を整えています。また、申し立てがあった際には、すぐに対応できるように、第三者委員も設置しています。	苦情窓口を保護者などにもわかりやすく伝え、申し入れがあった際は、迅速に対応できるように引き続きしていきます。
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	15	0	定期的なHPの更新を行ったり、保護者に対して通信の手紙を発行するなど、写真付きで分かりやすく情報を配信しています。	園の様子や配信したい事柄を現在よりもより頻繁に伝えるようにし、情報の配信を続けていきます。
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	15	0	定期的に個人情報についての研修を行い、外部に漏れることがないように徹底しています。	今後も個人情報の取り扱いについて職員に周知を行っています。
	49	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	15	0	こども達だけでなく、保護者にもわかりやすいように情報配信するように心がけています。	引き続きこども達や保護者の方に関わりを大切にしていきます。
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	13	2	年に2回のオープンスクールでは、地域の方にも参加していただけるようにしています。	オープンスクール以外の活動内容についても検討していきます。
非 常 時 等 の 対 応	51	<u>【放デイのみ】</u> 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。				
	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	15	0	各マニュアルを作成し、定期的に見直しを行いながら周知徹底を行っています。	定期的なマニュアルの検討をしていき、引き続き訓練なども行っていきます。
	53	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	15	0	業務継続計画を策定し、定期的に見直しや職員研修を行ったり、月に1回の避難訓練や緊急時対応訓練なども行っていきます。	引き続きBCPの見直しを定期的に行い、検討しながら非常災害時に備えていきます。
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	15	0	入園・進級の際には、保護者との面談などを通してこどもの状況を確認し、職員全員で確認するようにしています。	保護者との情報共有を行いながら、こどもの状況を把握し、安全に保育・療育を行っています。
	55	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	15	0	アレルギーのあるこどもについては、毎月保護者に給食献立の確認を行ってもらい、担任・調理師の二重チェックを行うようにしています。	今後も保護者との情報共有を行いながら、医師の指示書に従い、アレルギー対応を徹底していきます。
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	15	0	安全計画の元、毎週遊具の安全確認を行ったり、研修や訓練を行いながら支援を行っています。	今後も様々な訓練を実施し、安全管理を行って支援を行います。
	57	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	15	0	日々の療育の中で気になることは保護者にすぐに伝えるようにしたり、行事などを通して直接、訓練や支援の内容を見ていただき、周知を行っています。	引き続き安全に保育・療育ができるように勤めていながら、保護者との連携も取れるようにしていきます。

	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	15	0	ヒヤリハットの記録を残すとともに職員会議を行い情報を共有し、再発防止に努めています。	今後もヒヤリハットを含む事故発生時の報告を行い、職員間での情報共有を徹底し、環境整備を行っていったり、支援方法を工夫したりして再発防止に努めます。
	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	15	0	定期的に虐待防止委員会を開き、その後職員で会議を行い虐待防止について話し合いを行うようにしています。また研修にも参加し、支援にもついても見直しを行うようにしています。	今後も虐待防止の研修に積極的に参加し、また会議なども行いながら職員間で周知徹底を行います。
	60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	15	0	個別支援計画に身体拘束（行動制限）についての記載を行い、保護者に対して十分に説明を行うようにしています。	今後も身体拘束が必要な時は、保護者と十分話し合い、定期的に見直しを行っていきながら、職員間で共通理解していきます。